

糖尿病性腎症重症化予防のためのかかりつけ医等との連携した保健指導（アンケートより）

Q&A

No.	質問内容	回答
1	鹿児島市がいつまでも透析が多いのはなぜでしょうか？	原因ははっきりとは言えませんが、新規透析導入患者の状況をみますと、糖尿病、高血圧などの生活習慣病合併が多いことはわかっています。また、全国と比べて若い世代から透析導入となっている現状があります。 当日お示ししました統計図は、鹿児島市国保の人工透析患者についてのデータであり、本市全体で見ますと、新規人工透析患者（鹿児島市じん臓機能障害1級手帳新規所持者数）は、対人口10万人では全国平均よりも低い状況です。延の透析患者は依然として多いです。
2	糖尿でも焼酎が止められない方が多い気がします。禁煙の様に禁酒キャンペーンを続けて、若いうちからアルコールを減らす努力が必要では無いかと思いましたが、アルコール対策は何かしているのでしょうか？	本市では、生活習慣病重症化予防の保健指導の中でアルコールについても対応しています。 また、健康増進計画に目標としてアルコールに関する項目を掲げ取り組んでいます。さらに、食育推進事業で作成している「高校3年生向け」のリーフレットでも適正飲酒にふれています。
3	食生活改善、減量などの指導は難しく、治療に積極的でない方の説得も困難かと思いますが、保健師の方々と医療機関、行政機関が協力し合って良い結果がでるといいと思います。	ご意見ありがとうございます。
4	透析導入の推移が鹿児島県は低下傾向に対し、鹿児島市の悪化に歯止めがかからない要因につきもう少し解析をして頂きたい。今回の取り組みを始める要因が、鹿児島市の医療体制が鹿児島県に比し不十分である実感がない。	本市国保の透析患者割合（延）は、増加傾向です。ただ、新規人工透析患者割合をみますと、ここ数年横ばいの状況でありました。今後も継続して分析を行い、重症化予防に向けて関係機関の皆様との連携した取組を進めてまいります。
5	今回説明だけでは理解が追いつかなかったので、資料を再度見てみたいと思います。今の時点で質問はありません。	本市ホームページにも資料を掲載しておりますので、ご活用ください。
6	鹿児島市糖尿病性腎症重症化予防プログラムノートは配布されるのでしょうか。	本事業におけるプログラム対象者に保健センター等からお渡しします。また、関係医療機関等へ見本として1冊送付させていただきます。